

IIJ Omnibusサービスにおいて、ローカルブレイクアウト機能を強化 -- Microsoft 365、Google Workspace、Windows Updateなど特定SaaSの通信を 拠点から直接インターネットに流し、企業ネットワークの負荷を軽減 --

当社は、クラウド型のネットワークサービス(SD-WAN(※1))である「IIJ Omnibus サービス(以下 IIJ Omnibus)」において、企業ネットワークのトラフィック負荷の軽減を目的に、特定の SaaS 向けのトラフィックについて、拠点から直接インターネットに流すことが可能なローカルブレイクアウト機能(※2)を強化いたします。具体的には IIJ Omnibus が、ローカルブレイクアウトを実現するために必要な宛先情報を収集する「IIJ クラウドナビゲーションデータベース(※3)」と連携することで、お客様は特定 SaaS 宛のトラフィックを直接各拠点からインターネットへ流すネットワーク構成を容易に取ることができ、企業ネットワークの輻輳や、インターネットゲートウェイ設備へのアクセス集中を回避することが可能です。

また、IIJ クラウドナビゲーションデータベースにて提供している宛先テンプレート(宛先リスト集)について、従来の Microsoft 365、Google Workspace、Windows Update、Zscaler に加え、Zoom、Box のテンプレートを 2024 年 3 月より提供開始いたします。

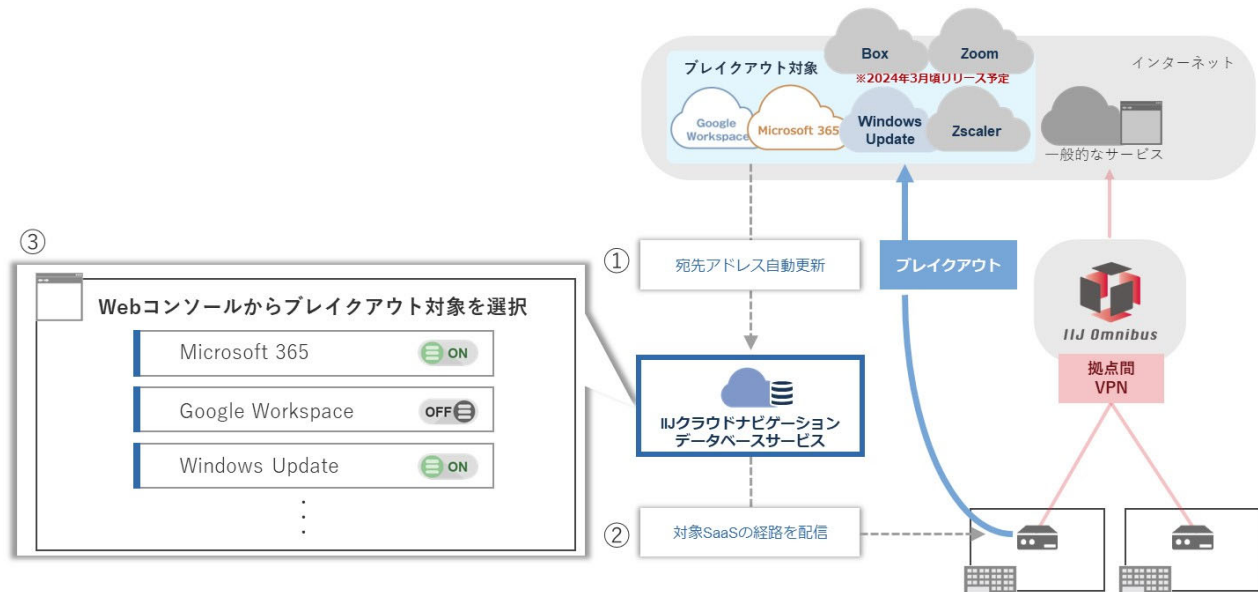
IIJ Omnibus は、企業ネットワークに必要な機能を仮想化し、クラウドサービスとしてオンデマンドで提供する SD-WAN です。WAN を構成するための機能に加え、各種クラウドサービスへの閉域接続、高品質リモートアクセスなどの多種多様な機能を提供しています。これらの機能を組み合わせることで自社に最適なネットワーク環境を構成することができ、複雑化する企業ネットワークの運用負荷とコストを大幅に削減することが可能です。企業ネットワークの要として多くのお客様に採用いただいている IIJ Omnibus ですが、今般 IIJ クラウドナビゲーションデータベースに対応することにより、特定 SaaS 向けのトラフィックを拠点からローカルブレイクアウトできるネットワーク構成が容易に構築できるようになりました。

- ※1 SD-WAN (Software Defined Wide Area Network) : ネットワーク全体をソフトウェアで制御するネットワーク技術を用いて、WAN を仮想的に一元管理するものです。
- ※2 ローカルブレイクアウト: 特定のクラウドサービス宛の通信について、データセンターなどのインターネットゲートウェイを経由せずに各拠点のインターネット回線から直接アクセスする機能です。
- ※3 特定 SaaS の宛先情報を自動収集し、IIJ の他サービスと連携することでローカルブレイクアウトなどが実現できるクラウド型のデータベースサービスです。宛先クラウドの IP アドレスだけでなく、FQDN 情報を提供するほか、専用画面では独自にルールを追加するなどの編集も可能です。詳細は <https://www.iij.ad.jp/biz/cloud-nav/> をご覧ください。

背景

近年、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を背景に SaaS 利用が拡大し、クラウドサービス向けのトラフィック増大が企業ネットワークの輻輳や、設備リソースの圧迫による遅延などを引き起こしています。こうした課題を解消する方策として、特定 SaaS 宛の通信について、本社のインターネットゲートウェイを介さずに、各拠点から直接アクセスさせることで社内ネットワークの負荷を軽減させるローカルブレイクアウトという構成が注目されています。当社は 2023 年 6 月に「IIJ クラウドナビゲーションデータベース」を開発しました。今回、IIJ Omnibus が IIJ クラウドナビゲーションデータベースと連携し、ローカルブレイクアウト機能を強化したことで柔軟なトラフィック制御が可能となり、お客様はネットワークコストの最適化や安定的なクラウド利用環境を実現することができます。

利用イメージ



① SaaS の宛先情報を自動更新

Microsoft 365 や Google Workspace、Windows Update などでは、日々 FQDN や IP アドレスが予告なく更新されますが、SaaS の宛先情報の自動更新により、管理者はいつあるか分からない SaaS の更新情報を追従する面倒な運用から解放されます。

② お客様の各拠点向けに SaaS の宛先情報を提供

SaaS の宛先情報を、IIJ クラウドナビゲーションデータベースから、WAN を構成する各拠点に置かれたサービスアダプタに送ります。

③ 振り分けルール設定 UI を提供

お客様ご自身で、通信の振り分けが必要、あるいは不必要な FQDN や IP アドレスを IIJ が用意したテンプレートから専用画面で設定・変更できます。また、テンプレートに無い宛先においても、手動で追加可能なため、より柔軟な振り分けルールの作成が可能です。

④ IIJ クラウドナビゲーションデータベースにおいては、新たに Zoom と Box のテンプレートを提供開始いたします。

*2024 年 3 月を予定しています。

IIJ クラウドナビゲーションデータベースの提供価格(税抜き)

| | 初期費用 | 月額費用 |
|-------------------------|-----------|----------|
| 基本機能 | 120,000 円 | 38,000 円 |
| 宛先テンプレート(テンプレート 1 つあたり) | 0 円 | 25,000 円 |
| 経路配信機能(ルータ 1 台あたり) | 0 円 | 2,000 円 |

➤ IIJ Omnibus サービスについては、以下をご覧ください。

<https://www.ij.ad.jp/biz/omnibus/>

IIJ では今後も、お客様のニーズに合ったネットワークサービスを提供できるよう、機能開発を進めてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp

URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。